対象：小学校入学前の子どもをもつ保護者

時間：４５分程度

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ねらい | * 親子で安心した気持ちで小学校生活をスタートするために、保護者として大切にしたいポイントに   ついて考える。 | | |
| 実施のポイント  （評価など） | * 小学校入学時に「自分のことは自分でできる」という自信を持つことができるように、関わり方の   ポイントについて考えることができる。 | | |
| 事前準備 | ○　あらかじめ４人組に分かれておく。  ○　筆記用具（黒・カラーペン）　○　ワークシート　○　アンケート用紙（必要に応じて）  ○　資料　　○　付せん紙（ピンク・青・黄）　　○　名札　　○　模造紙 | | |
| 時　間 | 学習活動 | 学習活動のねらい（◎）とポイント（・） | 準備物 |
| ５分  **導 入** | ・ワークの趣旨説明  ・３つの約束  ・アイスブレイク  （子どもの名前） | ・自己紹介では、保護者や子どもの名前等について話  をすることで、互いに親近感がもてるようにする。 | 名札  ３つの約束 |
| 10分  **展 開** | **ワーク１**  ・学校生活を迎えるにあたって、大丈夫だと思うことや不安だと思うことをグループで話し合う。 | ◎小学校生活をスムーズにスタートするにあたって、「自分のことは自分でできる習慣」を身に付ける必要があることに気付くことをねらいとする。  ・資料１を見て、小学校生活のイメージをふくらませる。  ・子どもの様子で、「小学校に入学しても大丈夫だと思うこと」を付せん紙（ピンク）に、「少し不安だと思うこと」を付せん紙（青）に個人で書き出す。その際、１つの付せん紙につき１つずつ思いつくことを書き出す。  ・グループ内で模造紙に付せん紙を貼り付けながら、交流する。 | 資料１  ワークシート  付せん紙  (ピンク・青)  模造紙 |
| ５分 | **資料紹介**  ・資料を読み、５歳児の発達の特徴を知る。 | ◎大人の感覚に子どもを合わせるのではなく、発達段階を踏まえた関わりが大切であることに気付くことをねらいとする。  ・子どもの発達は個人差が大きいので、ゆっくりと構えることも大切であることを伝える。 | 資料２ |
| 15分 | **ワーク２**  ・ワーク１をもとに入学に向けた子どもへの関わり方についてグループで話し合う。  ・グループの意見を  　発表し、全体で共有  する。 | ◎子どもの入学に向けて、保護者としてできることを考えることをねらいとする。  ・個人で付せん紙（黄）に書き出す。  ・グループ内で模造紙に付せん紙を貼り付けながら、自由に話し合う。  ・わが子のことはもちろん、グループの人へもアドバイスするよう伝える。  ・無理をせず、できることから行うことを伝える。  ・グループで話し合った後、数名に感想を求め、全体で共有する。 | ワークシート  付せん紙（黄）  模造紙 |
| 10分  **まとめ** | **ふりかえり**  ・感想を記入する。  ・グループ内で感想  を発表する。  ・時間があれば、全  体で共有する。 | ・学習を振り返り、親子で入学に向けて楽しみをもちながら、できることから取り組むよう伝える。  ・困った時は、思いを言葉で伝えたり、尋ねたりできるように「自分の気持ちを言葉で伝える」ことも大切であることを確認する。  ・保護者自身も困ったことがあれば、学校や周りの保護者に相談するなど、一人で抱え込まないようにすることを伝える。 | ワークシート  資料３ |